

わたしたちの須坂市

～ 小学校社会科副読本 ～

『ふるさと須坂』を学ぶみなさんへ

私たちがくらす『ふるさと須坂』は、ゆたかな自然をはじめ、多くの産業や歴史・文化、そしてあたたかい人々であふれています。この『ふるさと須坂』で生活しているみなさんに、須坂市についてよく知ってもらったり、もっと新しいことを発見してもらったりして、須坂市でくらすしていること、学んでいることをほこりにしてもらいたいと願っています。

そこでこの本は、主に小学校3,4年生が学習する「身近な地域」の学習で、さらに5年生の産業や情報の学習、6年生の歴史の学習にも、その手がかり・参考となるように、須坂市内の小学校の先生方とたくさんの方のみなさんのご協力でご編集していただきました。

この本をもとにして、身近な地域について、そして『わたしたちの須坂市』について、よりくわしく、より深く学習して、みなさんが成長して世界中で活躍するようになった時、この『ふるさと須坂』をほこりに思い、そのよさを語れるようになることを期待しています。

平成30年3月

須坂市教育委員会

空から見た須坂市 (鳥瞰図)

鳥瞰図とは、上空から斜めに見下ろした地図のことで、まるで空を飛ぶ鳥の目から見たように見える図、という意味です。

私たちが住む須坂市は、どのように見えるでしょうか。市の南東側にそびえる山々から河川や道路、身近な小学校や主な施設などを強調して作成しており、高低差に富んだ地形、市街地・果樹地域などの様子が一目でわかりますね。

須坂市の市章



須坂市の市章は、大正4年11月に制定されたもので、亀の甲を「須坂」の「ス」の文字で表し、須坂の歴史と将来への発展を意味しています。

江戸時代に14代、約250年にわたり須坂藩を治めた堀家の家紋が、亀甲卍（亀の甲羅模様の中に卍が入っているもの）と呼ばれるものでした。須坂市がまだ須坂町であった大正4年11月、須坂の歴史や伝統を大切にする意味で、須坂藩の家紋から亀甲の形を引き継ぎ、「須坂」の「ス」を6つ組み合わせ、将来の発展への希望を表現する現在の「市章」が誕生しました。

須坂市の木、花

市の木クマスギ、市の花レンゲツツジは、昭和49年に市制施行20周年記念として制定されました。

また、より身近な木や花を通して、花いっぱいのもちづくりを進めるため、平成18年度に5種類の木と花を、第二の市の木、市の花として推奨することとしました。

第二の市の木・・・クワ、サクラ、ハナミズキ、マツ、ヤマボウシ
第二の市の花・・・アジサイ、カンナ、サルビア、スマレ、ヘブンリーブルー



クマスギ



レンゲツツジ

も く じ

『ふるさと須坂』を学ぶみなさんへ
空から見た須坂市（鳥瞰図）
須坂市の市章 須坂市の木、花

I 身近な地域や市の様子

1. 須坂市の位置 1
2. 須坂市の気候 3
3. 須坂市の地形 4
4. 須坂市の土地利用の様子 6
5. 須坂市の公共施設 8
6. 須坂市に古くからのこる建物 10

II わたしたちの市の人々の仕事

1. 須坂市の農業の様子 12
2. 須坂市の工業の様子 27
3. 須坂市の商店街やお店の工夫 40
4. わたしたちの生活とメディア 46

III 健康な暮らしを守る

1. ごみのゆくえ 49
2. 暮らしをささえる水 58
3. 下水のゆくえ 64
4. わたしたちの暮らしと環境 66

IV 安全な暮らしを守る

1. 事故・事件のないまちを目指して 70
2. 火事や災害からまちを守るために 75

V かわってきた人々の暮らし

1. 古い道具と昔の暮らし 82
2. 地域に残る古いもの 84
3. 須坂市のうつりかわり 88
4. 須坂の発展につくした人々 110

VI 資料 117